

会告 「平城宮・京跡の木簡の保存を訴える緊急アピール」について

木簡学会では、平城宮跡の直下に京奈和自動車道大和北道路の地下トンネルが計画されている問題について、「古都奈良の文化財」の一つとして世界遺産にも登録された特別史跡平城宮跡に包蔵されている木簡に、致命的な影響を与えかねない点を深く憂慮し、二〇〇〇年六月の委員会声明「京奈和自動車道の平城宮跡地下通過計画の撤回を求める要望書」の発表以来、二〇〇〇年二月の第二回総会における「京奈和自動車道の平城宮跡地下通過計画の撤回を求める要望書」、二〇〇三年六月の委員会における「大和北道路の平城宮跡直下トンネル案の即時撤回を求める要望書」などを決議し、この計画の白紙撤回を強く求めてきた。また、同様にこの計画に強い懸念を抱く学会・市民団体とも協力して運動を進め、「高速道路計画で危機を迎えた世界遺産平城宮跡を考えるシンポジウム」実行委員会を組織して幹事団体としてこれに参加し、二〇〇一年一月と二〇〇二年一月の二回にわたってシンポジウムを開催するなど、平城宮・京跡の木簡が直面している危機的状況と保存策を講じることの必要性について広く一般の理解と協力を求めてきた。

この間、二〇〇三年五月には平城宮跡大膳職推定地出土木簡が出土文字資料として初めて国の重要文化財に指定され、木簡の重要性はさらに広く認められるに至っている。

二〇〇三年一〇月、国土交通省有識者委員会が推奨ルート・構造案に関する提言を発表したことにより、この問題は新たな局面を迎えるに至っている。提示された推奨ルート案は、国道二四号線バイパスのウワナベ・コナベ古墳東北の地点で地下に入り、近鉄新大宮駅付近を通って平城京跡南部で地上に出るというもので、平城宮跡直下を避け、また世界遺産のバッファゾーンを極力避けたものとなっており、平城宮跡直下にトンネルを通さるという最悪の事態は免れそうだが、木簡の命の源といえる地下水への悪影響が危惧される事態に何ら変わりはない。

そこで、木簡学会では二〇〇三年二月六日に開催した第二五回総会において、「平城宮・京跡の木簡の保存を訴える緊急アピール」を学会の総意として決議し、内閣総理大臣・総務大臣・国土交通大臣・文部科学大臣・文化庁長官・奈良県知事・奈良市長・奈良県議会議長・奈良市議会議長・国土交通省近畿地方建設局長・同奈良国道事務所長宛に送付し、併せて関係各機関などにも決議の趣旨に対して理解と協力を求めた。以下はその全文である。

平城宮・京跡の木簡の保存を訴える緊急アピール

木簡学会では、二〇〇〇年六月の委員会声明以来、再三にわたって京奈和自動車道大和北道路の平城宮跡地下トンネル案の白紙撤回を求め、木簡の保存を強く訴えてきました。それは、国指定の特別史跡であり世界遺産にも登録された平城宮跡の地下に、たとえ一つの選択肢としてとはいえ、高速道路のトンネルを通そうという計画が平然と語られたことに対し重大な危惧を抱くとともに、大膳職跡推定地出土木簡の重要文化財指定にも端的に表れているように、広く価値を認められた木簡を危機に陥れかねない計画に強い憤りを覚えたからです。

去る一〇月、国土交通省有識者委員会は、大和北道路の推奨ルート・構造に関する提言をまとめました。ルート案のうち中央エリアを「地下十高架」構造で通過するものを最適とした上で、これに適合する三種類のルートのうち、「西九条佐保線地下十高架案」の優位性を指摘しています。この推奨案は、これに先立つ文化財検討委員会の提言を尊重して平城宮跡直下を避け、世界遺産のバッファゾーンを避けたものとはなっています。

しかし、平城宮跡周辺、特に東南に接する地域からは、長屋王家木簡や二条大路木簡など宮内に倍する数の木簡が出土し、平城

京跡南部の八条町でも八五〇点に上る木簡が出土し、平城宮跡だけでなく平城京跡にも多数の木簡が包蔵されていることが明らかになっていきます。推奨ルート・構造案でも、なお平城宮・京跡の地下に眠る木簡の命の源である地下水を守るという観点からすると、平城宮・京跡を守り、木簡を後世に伝えていく責務があると考えられる私たちは、一三〇〇年にわたり木簡を守ってきた地下水への悪影響を危惧します。奈良の交通の問題は、単に道路を一本通せば解決するという単純なものではありません。文化財との共生を図りながら、いかに奈良らしさを表現してゆくか、真剣に考えるべきときに来ているのではないのでしょうか。

私たちは、ここに木簡学会第二五回総会を開催するにあたり、京奈和自動車道大和北道路のルート選定について、さらに慎重な検討を行い、特別史跡平城宮跡、及びその周辺の平城京跡に包蔵されている木簡を確実に保存する方策をとるよう強く訴える要望を決議し、ここに緊急アピールとして発表いたします。関係各位・機関のご理解・ご協力と、誠意ある対応を切に要望するものです。

二〇〇三年二月六日

木簡学会